スキル標準活用委員会活動報告



2007.12.12 ITSSユーザーカンファレンス2008

スキル標準活用委員会 委員長 株式会社パソナテック 加藤 直樹





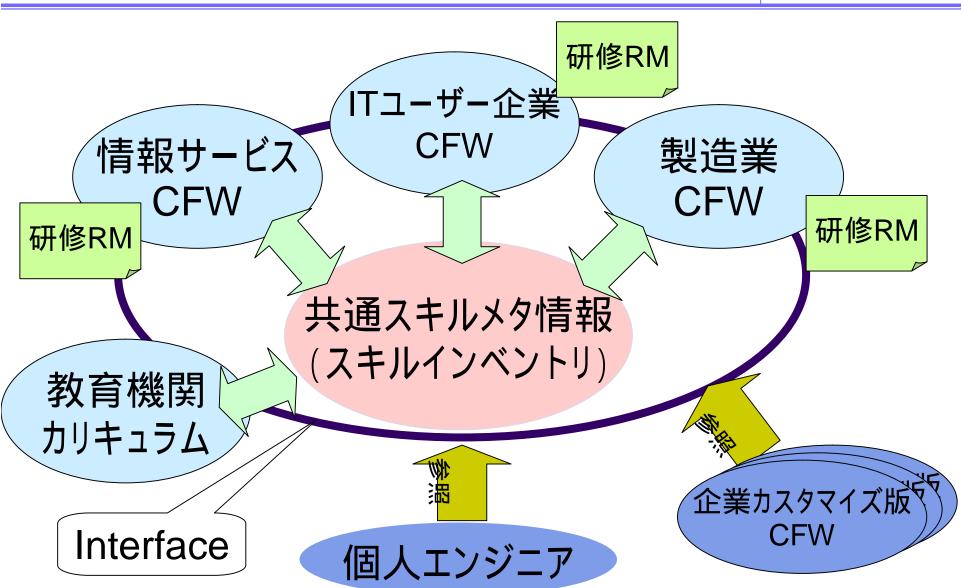
ITSS、UISS、ETSS、その他関係者が集い、開発側の(所属)利害を超えた、ユーザー本位の活用を提言、支援していく。

高度IT人材の育成 人材の流動化促進 ITを志す若者の増加

IT国際競争力強化

共通化イメージ





活動



【会議体と活動範囲】

- 1~2ヶ月に一度開催
- 会員だけでな〈UISS、ETSS関係者を含めたコミュニティ
- 経済産業省、IPAとの情報共有

【対象】

- スキル標準活用するすべてのステークホルダー
 - 情報サービス業、ITユーザー企業、製造業、個人エンジニア





委員会メンバー人数30名、協会会員外からの多数の参加

社名	氏名	社名	氏名
株式会社パソナテック	加藤 直樹	(有) K B マネジメント	清水 千博
東京電力株式会社	沼田 克彦	株式会社オージス総研	今井 康雄
学術博士	神沼 靖子	株式会社ザ・ネット	堤 裕次郎
NECソフト株式会社	福嶋 義弘	N E C フィールディング	浜野 克哉
富士通株式会社	秋元 裕和	株式会社ネクストエデュケーションシンク	斉藤 実
株式会社スキルスタンダード研究所	森岡 政志	(株)日立インフォメーションアカデミー	井下田 正二
セントラルコンピューターサービス株式会社	渡辺 美鈴	社団法人企業情報化協会(IT協会)	田口 浩
株式会社CXO	西川 靖俊	(株)国際テクノロジーセンター	山崎 正雄
株式会社パソナテック	田渕 恭子	株式会社富士通ラーニンメディア	水野 誠
株式会社富士通アドバンストソリューションズ	田辺 丈二	九電ビジネスソリューションズ株式会社	渕 正巳
株式会社イーラーニング	松崎 剛	IPA	森澤 正純
プロソフトトレーニング・ジャパン株式会社	引地 英治	IPA	平林 和男
PSマネジメントコンサルティング	安藤 良治	IPA	渡辺 登
株式会社デジタルイノベーション	井本 貴志	IPA	関口 正
株式会社デジタルイノベーション	鈴木 元子	IPA	石川 秀一

(順不同、敬称略)

2007年度活動内容



- 1. セミナー活動
- 2. ワーキンググループ活動
- 3. 海外連携

1. セミナー活動



第一回スキル標準活用委員会

日程:2007年4月20日(金)15:00~17:00

場所:九段会館「あやめ」

【テーマ】 UISS 「UISSの概要と今後の展開」 「UISSの利用用途と活用事例~活用ガイド作成を通して~」

【講師】

沼田 克彦氏
JUAS UISSセンター UISS改善WG
東京電力株式会社
システム企画部新配電システムプロジェクトグループマネージャー

田渕 恭子氏
JUAS UISSセンター UTSS普及啓発WG 株式会社パソナテック キャリアサポート部 部長

1. セミナー活動



第二回スキル標準活用委員会

日程:2007年7月5日(木)15:00~17:00

場所:全米販食糧会館 2A会議室

【テーマ】 欧州スキル標準の最新動向

標準化の先進地域であるヨーロッパのスキル標準の活用方法や最新動向の調査レポートの発表

1. 欧州のスキル標準 各国情報、メタ・フレームワーク

2. 欧州に関する予備知識 時代背景、ドロール白書、ボローニャ宣言、

3. EUの長期戦略 Long Term e-Skills Strategy in Europe

4. e-Competence(*) Framework 欧州共有フレームワークに向けて

5. 日本との比較

【講師】 渡辺 美鈴氏 スキル標準活用委員会 海外担当 セントラルコンピュータサービス株式会社 ITサポート部門 品質標準部

1. セミナー活動



第三回スキル標準活用委員会

日程:2007年9月6日(木)15:00~17:00

場所:全米販食糧会館 2C会議室

【テーマ】ETSSの紹介と効果的な活用方法

- 1. 組込みソフトウェアを取り巻く状況
- 2. 20分でわかるETSS
- 3. スキルと知識について
- 4. ETSSの効果的な活用方法

【講師】 石川 秀一氏 独立行政法人 情報処理推進機構(IPA) ソフトウェア・エンジニアリング・センター 組込プロジェクトグループ

2. ワーキンググループ活動



ETSS実証ワーキンググループ

【趣旨】

ETSS導入活用の実証実験を通じ、活用方法を明らかにし提供する

【活動内容】

- ETSSのスキル項目をSSI-ITSS上に整理、実装
- 企業導入の実証実験を実施

【対象】 ETSS活用を予定・検討している企業または個人 【活動期間】 2007年8月~2007年12月

後ほど詳しくご説明します

3.海外連携

欧州のICTスキル標準



欧州e-Competenceフレームワーク に向けて

欧州 ICTスキルフレームワークの作業構造

技術、政治ならびに産業レベルでの関連参加団体



会議 ロンドン 2006/42 ミラノ 2007/05 パリ 2007/10

CEN experts e-Competence FW:

analysing problems possible solutions first decisions

input for EWG agreements

The expert working group (EWG):

enlarge the CEN expert's perspectives analysing and discussing CEN expert's suggestions common decisions **European agreements on technical level**



CIGREFHR group: Practical support by elaborating competence according to the rules defined. Testing competence definitions

Airbus team: Practical support by elaborating competence according to the rules defined. Testing competence definitions

CEN workshop community:

Supervising the process by its steering Committee Supporting the result by a

CWA common workshop agreement



CEN expert marketing:

Website, info material, Case studies etc.

関連ステークホルダー(抜粋)

2007年9月時点



AITTS(D) - CIGREF (F) - SFIA (UK)

欧州各国 欧州の団体 フランス - ドイツ - イタリア - スペイン EC 企業ならびに工業総局、情報社会ならび - オランダ - 英国 – ・・・など にメディア総局 - CEDEFOP - CEN/ISSS ICTユーザ企業 ICTベンダ企業 バイエル ビジネス サービス(D) - エアバ Cap Gemini – CISCO Systems – ドイ ス(F, D,UK,E) - ミシュラン(F) - NHS(ナ ツテレコム(F) - IBM(UK) – シーメンス/ ショナル·ヘルス·サービス)(UK) - プジョー ノキア(D) - Bitkom(D) - Syntec (F) - CIGREF(F) - IG Metal(金属産業 Informations (F) – …など 労働組合)(D) - …など 雇用主 – 労働組合 フレームワークの ICT認定、高度教育とリサーチ ステークホルダー Fondazione Politenico(I) – ESMI Grenoble

D:ドイツ、F:フランス、UK:英国、E:スペイン、NL:オランダ

(F) - EXIN International (NL)





期間	内容	進捗
2007/03-2007/06	・ICT能力領域認定方法(ICT知識とプロセスの横断による)	OK
	・方法論に関する更なる議論(粗い認識方法)	
2007/09	・欧州e-Competence開発のガイドライン策定	OK
207/10-2008/04	・主たるICT能力領域(レイヤ1)の識別	OK
	・関連するコアコンピタンス(レイヤ2)の識別	
	・今ピタンス記述の具体的作業	
2007/10	・欧州委員会への中間報告	OK
2007/12	・コンピタンス記述の初回テスト	
2008/01	・ユーザガイドラインの初回ドラフト版	
2008/04-2008/05	・潜在的ユーザによるフレームワークのテスト ・更なる開発と調整	
2008/5-2008/06	・フレームワークの検証	
	│ ·ユーザガイドラインの調整 ├─────────────────────────	
2008/10	・欧州委員会への最終報告	
	・フレームワークとユーザガイドライン	





2007年11月16日 BrusselsのCEN会議室におけるコアメンバー



